

第1回

「益田市総合教育会議」会議録

と き 平成27年4月24日（金） 13:30～

ところ 市役所3階 第2会議室

益 田 市

第1回 益田市総合教育会議

招集年月日 平成27年4月24日(金) 13時30分～

招集場所 市役所3階 第2会議室

議事日程

1 あいさつ

2 議事録署名者の指名

3 議事

(1) 益田市総合教育会議の運営について

①設置目的

②設置の根拠・運営

- ・地方教育行政の組織及び運営に関する法律第1条の4
- ・教育委員会事務局への事務委任に関する規則
- ・益田市総合教育会議運営規程(案) →本会議において協議する事項

(2) 教育に関する「大綱」の策定について

①策定の目的・イメージ・定義

②意見交換

(3) 今後の日程について

4 その他

出席者

益田市長	山本 浩章
教育長	村川 修
教育委員	永田 千秋
教育委員	水上 芳枝
教育委員	渡辺 隆

出席事務局職員

教育部長	川原 敏之
教育総務課長	島田 博
教育総務課長補佐	寺戸 一弘

会議傍聴者 5名

島田総務課長 時間となりましたので、第1回益田市総合教育会議を開催していき
たいと思います。先ず初めに、益田市長よりごあいさつをいただきたい
と思います。

山本市長 皆さんこんにちは。今日はお忙しいところ、第1回の益田市総合教
育会議にご出席をいただき誠にありがとうございます。また、教育委
員会の皆様には日頃から益田市の教育行政の推進につきまして、格別
なるご理解とご協力を頂いております事を改めてお礼申し上げます。
さてご案内のとおり平成27年度からの教育委員会制度については、
大きく改正となった点がございます。1つは今開催しております総合
教育会議を市長が設置し開催する事となった事です。2つ目は総合教
育会議の中で協議・調整を行います。教育に関する大綱を市長が策
定する事となった事です。そして3つ目が、従来の教育委員長と教育
長を一本化した、新たな教育長制度が始まったというところです。そ
して教育長につきましては、既にご案内のとおり、従来の教育長であ
りました村川教育長には、一旦辞職していただきまして、4月1日か
ら新たな制度の下での教育長として就任して頂いたところです。そし
て、今回の教育委員会制度の改正と言うのは、教育長の権限強化と並
んで、市長が教育に対して関与を深めるという色彩があります。これ
は、教育委員会と市長部局が連携を強化するという意味で私としては
捉えたいと思っております。一方で教育委員会制度の元々の趣旨であ
ります、教育に誠実に鑑みて政治的中立性を保つという事につきまし
ては、現にこれを尊重したいと思っておりますし、明確に一線を引き
たいと思っております。具体的には、教科書選定であるとか教職員人
事につきましても、これについて影響力を及ぼすという考えは持って
おりません。市長部局と教育委員会が連携を深めることによって益田
市の教育そのものをより効果的に進めていくという事を、今回の制度
改正を活かしてより進めていきたいと思っております。そして、
総合教育会議において協議・調整を尽くすべき項目としては3点ござ
います。1つが教育に関する大綱の策定、そして2つ目が教育の条件
整備など重点的に講ずべき施策、それから緊急の場合ですが、児童・
生徒等の生命・身体の保護等緊急の場合に講ずべき措置、と言うと
ころでございます。本日におきましては、教育に関する大綱についてこ
の協議をさせて頂きたいと思っております。また、総合教育会議の中
におきまして、会の運営規程。これも総合教育会議の中で定める事と
なっておりますので、これをあらかじめご意見を頂いて決めていき
たいと思っております。それでは、充分にご議論頂きまして、実りある第1回教育総合会議にして頂きます事をお願い申しあ
げまして、簡単ですがご挨拶といたします。どうぞよろしくお願いい

たします。

山本市長　それでは、先ず議事録署名者の指名をいたします。永田委員、水上委員、どうぞよろしく願いいたします。

それから、議事に入ります。先ず1番目の議事としましては、益田市総合教育会議の運営についてであります。この内、設置目的、設置の根拠・運営について事務局より説明をお願いします。

島田教育総務課長　益田市総合教育会議の運営についてという議題でございますが、設置目的、根拠・運営についてご説明申し上げます。今日の資料を1枚開いて頂いたところに、地方教育行政の組織及び運営に関する法律、その中の総合教育会議の項目第一条の四を抜粋したものをお示ししております。総合教育会議というのは、この法律の中に既に、どういう目的で行うものなのか、どのように運営していくものなのかという事が規定されております。改めて市の規程であるとか教育委員会の規程で定める事項では無い、という事で確認されております。目的といたしましては、先程市長が申しましたように、大綱の策定、重点施策への協議、更に児童・生徒に対する緊急的な対応が必要な場合に開催するという事が規定されております。一番最後のところ、第一条の四の第9項のところで、総合教育会議の運営に関し必要な事項は、総合教育会議が定める。という事になっておりますので、具体的な運営については後ほど案をお示しいたしますが、この会議の中で確認をとって頂いたらと思います。そして、事務に関する事ですが、招集に関しては、市長が行う事が第3項に規定されておまして、事務に関しては教育委員会に市長が事務委任することが出来るという規定がございます。それに関しましては、市の方で既に市長部局側でこの総合教育会議の事務については、教育委員会教育総務課に委任するという事で規程しております。これにつきましては、教育委員会への事務委任に関する規則を定めて明確化をしております。これは4月1日付けで規程されましたので、それに基づいて教育総務課がこの事務を取り扱っているという事です。皆さん方にお諮りしたい事は、資料の益田市総合教育会議運営規程（案）についてです。これが運営に関して必要な事項なんですが、召集の具体的な手続き、協議題の提示、決定方法、更に事務局を担当する部局、そして議事録を作成しどのように公表するのか。というようなものが想定されると示されております。そのマニュアルに基づきまして、この規程の（案）を用意したところですが、趣旨、会議の招集、教育委員会から会議の招集をするという事、そして議題については、市長・教育委員会から議題を集めまして協議題を準備する、会議については公開を原則とする、となっております、益田市会議等公開規程に基づいて公表していく。公開・非公開に関わ

らず会議の開催については事前に公表する。議事録についても、速やかに作成してホームページ等で公表する。委任を受けた中で、教育総務課の中で事務処理をする。という内容を定めております。この他に更に協議する必要なものが出ましたら、その都度教育委員会がこの総合教育会議会に諮りまして定める。という内容にしております。ご確認を頂きたいと思えます。

山本市長 総合教育会議の設置目的につきましても、最初私の方でも冒頭ご挨拶申し上げましたし、今事務局であります教育総務課の方から重ねて説明があったところです。設置の根拠・運営についても同じでございます。そしてこの中におきまして、益田市総合教育会議運営規程を策定いたしますが、原案については今説明があったとおりで、資料もお手元に配布されていると思えます。この運営規程（案）につきましてもご意見等ございますでしょうか。

全 員 ありません。

山本市長 それでは、特にご異議等ございませんでしたので、このとおり運営規程を定めることといたします。続きまして、議事の（２）教育に関する「大綱」の策定について議題といたします。先ず私の方からこの大綱の目的・イメージ・定義について、あらかた私の思いを述べさせていただきます。策定の目的としましては、地方教育行政の組織及び運営に関する法律に明記されておりますが、基本的に教育の目標や施策の根本的な方針を定めるものとされております。この大綱の周期、大綱がカバーする期間といたしましては、法律上明確な規定はございませんが、一つには、市長の任期が４年である事と、国の教育振興基本計画の対象期間が５年であるという事から、４年から５年が想定しておられる。いずれにしても複数年に及ぶものであるという事でございます。したがって、年度年度の、例えば教育に関する計画のようなものとは若干違って、もう少し、概括的などいいますか、大きな方針・施策の目標という事になってくるかと思っております。そして、私の基本的な教育施策に関する想いとしましては、既に策定されております、お手元の益田市教育に関する大綱という資料があると思えますが、既に益田市で策定されています第５次益田市総合振興計画、そして益田市教育ビジョン及び益田市社会教育推進計画、大きくはこれら既に策定されたものに基づいて、これを尊重しながら大綱を定めたいと考えています。因みに、第５次益田市総合振興計画については、平成２３年から平成３２年までの１０年をカバーしているものです。それから益田市教育ビジョンと益田市社会教育推進計画については、平成２６年の２月に策定されたもので、これも基本的に１０年間となっております。この大綱については、基本的に教育委員

会が策定されたビジョンや社会教育推進計画と違ひまして、教育委員会の皆様と組長である私が、協議調整を行った上で策定することから、教育部局と市長部局が連携しながら進めていく、それによって効果が発揮される。それを中心に定めていく事になろうかと思っています。そして、私としましては教育について重視した点があります。5点ほど申し上げたいと思います。先ず1点目がふるさと教育の推進、これに力を入れたいと思っております。2つ目がキャリア教育・起業家教育という事です。3つ目が、学力向上の推進と言う事です。4つ目が教育と子育て施策の連携を更に強化をしたいという事です。5つ目が、文化・芸術の振興に力を入れたいという事です。先ず1つ目のふるさと教育につきましましては、今益田市で人口拡大計画を進めておりますし、また今年度総合戦略を策定する事になっておりますが、やはり益田で教育を受けた子供達が、ふるさと益田に深い愛着等郷土愛をもって欲しいと思っておりますし、ゆくゆくは益田で活躍する、益田で培った才能を益田で発揮するという事を、子供達に強く意識して欲しい、という思いがあります。そうしたことから、幼少時からふるさとに関する知識とか思いを深めて欲しい。これについては、教育委員会は当然ですが、地区の公民館とか市長部局の地域振興部局との連携が不可欠であると思っております。2つ目のキャリア教育・起業家教育につきましましては、今年度進めようとしております総合戦略の中に、仕事づくりの視点を加える事としておりますが、将来子供達が、ふさわしい教育観・職業観を身につけて、主体的に自ら職業を選択する為、知識や技能を身につけてもらう為の、職業教育・キャリア教育を進めていきたいという事です。特にキャリア教育を進める上では益田の事業所との連携を深めて、事業所さんには、生きた職業体験の場として機会を与えて頂きたいと思っておりますし、機会を提供する事によって、将来を担う子供達と事業所が、幼少の時から結び付けを深めておく、両方にメリットがある形で進めていきたいと思っております。3つ目の学力向上につきましましては、益田市が教育にふさわしい街である、教育に力を入れている街である、という事を示す為にも、ここで確かな学力を身に付く、そういった環境を作っていくという事が欠かせないと思っております。4つ目に掲げております、教育と子育て施策の連携につきましましては、学校教育における時間に引けを取らない、例えば放課後の時間、長期休暇の時間、ここでの現在子育て支援部局が行っている機能等、教育委員会が担う機能等、これはやはり密接に結びついて、同じ目的で効果を高めることが必要だろうというところからです。これはまさに今回の教育委員会制度の改革の中の、教育委員会部局と市長部局の連携強化の趣旨に沿った形で進めて行く

べきものと思っております。それから5つ目の文化・芸術の振興につきましては、益田市は歴史的な資産、文化的な資産が豊富にあるという事。それから、現在も益田市ではなく、石見地方全体の文化・芸術の発信拠点であるグラントワを有している、ということからも、文化・芸術の振興をして、文化の香り高い街にしていくという事を、強く進めていきたいというところからです。以上の様な私なりに重点を置きたいという項目がありますけれど、一番最初に申しました様に、基本的には既にある教育上の計画、ビジョン。こういったものを参考にしながら、教育委員会と市長部局が連携を更に深めていく為の大綱づくりというイメージで進めていきたいと思っております。これについては、そもそも大綱というものが、どこからどこまでを決めるものなのか、必ずしも法律で明確になっていません。そういったところから、是非教育委員会の皆様方にご意見頂いて、協議・調整をさせて頂きたいと思っております。私の方から、ざっくばらんにお話しさせて頂きましたが、教育委員会の皆様から色んなご意見を賜りたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いたします。

渡辺委員

渡辺です。私は以前社会教育に関わった頃に、一つ参考にした町があるんです。それは、大分県の大山町でした。当時、矢幡治美さんと言う方が町長でおられまして、「梅栗植えてハワイへ行こう」というキャッチフレーズの下で、町づくりをされた町です。私の町（匹見町）は当時、大谷武嘉さんが町長でして、八幡さんを講演に招いた時に、八幡町長さんは、匹見町と大山町は町づくりで競争したんよ。という話をされました。その内容と言うのが、大山町は自力で町づくりを起こそう、という事でした。匹見は過疎を売り物にして、国から補助金をもらって色々町を整備していきたいな、そうした町づくりを進めたいという事でした。そうした中で、教育委員会にオオヤヒデオさんと言う方がおられたのですが、大山町は早朝ソフトボール大会を、地域をあげて大会をしていた。その時に、町長室に行って盛大にソフトボール大会が終わりました。と、無事に終わりましたと報告に行ったらしいです。そしたら八幡さんは、「何か見えたか」と言われたそうです。オオヤさんはわかりませんので、「終わった後盛大に打ち上げをされていました」と。2年目もまた盛大に大会をしたので、報告行かれました。無事に終わったと。「何か見えたか」と言われたので、また同じように報告されたそうです。3年目に行かれた時に、「おい、何か見えてきたか」と言われて、「はい、それがあちこちの地域から打ち上げをしている時に、あそこの草刈りをしようじゃないか、あそこの環境整備をしようじゃないか」という声が出て、「今度の日曜日にそういう事を取り組む事になったんよ」と言われた。私が思ってい

た町づくりはそこなんよ。ただスポーツをして楽しむだけではなく、やはりそこには二次的・三次的な効果を考えた上での、スポーツをするわけなので。無駄にお金を使っている訳ではない。そういう事を考えていけば、生涯学習というのは、教育全般を見ましても、直ぐに効果が出るものではない。長い目をみて、二次的・三次的な効果を視野に入れながら進めていくべきものではないだろうか。今回市長さんと一緒に教育問題を考えられるというのは、とっても良い機会と言う風に思います。やはり、全国には生涯学習による町づくりを進んできたところがたくさんあります。私達も見てきて素晴らしいところありますので、そうした視点でこれからの教育を考えて欲しいなど、そういうところを盛り込んだ教育大綱を作って欲しいと私は思います。

山本市長

貴重なご意見ありがとうございます。生涯学習自体も大変大きな要因ですけれども、そこから更に二次的三次的効果があるので、これを大きな重点をおいて進んでいくべきだと、それを盛り込んだ大綱にしたいというお考えですね。その他ありますか。永田委員。

永田委員

永田です。今お話しがありました。市の教育委員会と言う事で、市の小中学校についての教育に対するいろんな事を考えておられると思うのですが、この度市長さんが入られる事によって、小中にとどまらず、保育園・幼稚園・高校との連携をとりながら、大綱が考えられれば良いと思っています。この前、インターンシップが益田東中学校であったのですが、その時に益田高校の校長先生と話しをする事があって、校長先生が言われたのは、自分は益田市の出身ではなくて出雲から来たけども、益田市についてよく知っている。だけど益高生は自分が益田市の事知らないんだ。という事を言われて、今から自分も少子化になって行く中で益田市をよく知って、益田市を誇りに持つような方向で教育が進めて行けたら良いなあ。という話を聞いて、ああ凄いなど、有難いなど思って聞いていました。そういう気持ちを校長先生が持っておられるので、これをチャンスとして、是非この大綱を、保育園・幼稚園から高校に繋げたものを作り、そして、保育園・幼稚園・高校にも発信して、益田市を挙げて、益田市が素晴らしい、益田市に帰って来たい、先程市長さんも言われましたが、益田市に生まれて良かった、益田市の素晴らしさはこんな所だ。大学が無いので、何時かは出て行くかも知れないけれど、益田に帰って来てその素晴らしい力を益田市で発揮出来る様な、そういう子供を育てていく必要があるのかな。と思いながら感じています。本当に益田市は、自然にも恵まれ、人にも恵まれ、歴史にも恵まれ、住みやすい所ですし、良い所なので、是非、子供達も益田市も素晴らしさも発信して、そして帰ってくる。益田市にも色々な企業があるという事を、私も恥ずかしなが

ら知ったんですが、こんな企業が益田市にはあるんか、と言う様な企業がファクトリーパークには何社かあるので、その辺りの連携、先程市長さんも言われましたが、連携をとりながら子供達にその企業の素晴らしさなり、こんなのがあるんだという事を教えていく様な連携、また、益田市の歴史を学んで。という事で、その授業を見させていただいたのですが、とっても良い授業で、私が中学校の時にあんな授業を受けたら、もっともっと自分のふるさとが好きになったし、ふるさとを語れる人間になったのに。そういう授業がなされてなかったなあ、っていう事を思い出しながら、益田中学校の生徒が益田市の歴史を学んで書いている感想文は素晴らしいもので、誇りを持ってとか、本当に益田市は素晴らしいところなんだ。という事を改めて感じている事があるので、ぜひぜひ益田市の素晴らしさ、そして保育園から高校まで連携した大綱が出来ると良いなと思っています。

水上委員

失礼します。水上です。よろしく申し上げます。大綱の内容はともかくなんですが、是非、子育てをしている人達、先程永田委員が言われた、保育所に通っている子供達からと言うか、若いお母さん達が子育てをしている時に、バックアップにこの教育大綱があって、益田で子供を育てて、例えば安心して色々な所でサポートが貰えて、守ってもらっている。こういう教育の基本があるから、私達はここで子供を育てていけるって言う、何か安心感に繋がる様な大綱であって欲しいし、そうやって育てられた、若いお母さんやお父さんに育てられた子供達が大きくなって、又自分も一度は都会に出ても、又益田で子育てをしようかな。って言う様な気持ちになれる大綱であって欲しい。それから、内容は色々あると思いますけど、是非、誰にもわかり易い示し方。示し方の方法はまだ具体的にあれなんですけども、例えば、キャッチフレーズをするとか、重点目標5つみたいなものをわかり易い言葉に変えてやるとかがあって、なるべく浸透出来るように、保護者いわゆる小学校・中学校だけの保護者ではなくて、高校生を持つお母さん方、それから子育てを終わった地域の人たちも、益田市にはこんな立派な大綱が出来たんだぞ。って言うのが分かるぐらいな示し方が出来たら良いんじゃないかな、と思います。是非、内容に知恵を絞っていききたいな、と思います。

村川教育長

教育長の村川です。よろしく申し上げます。本当に今回の仕組みと言いますか取り組みは、時期を得たと言いますか、今の時代に本当に必要な仕組みだろうと思っていまして、去年、丁度説明していただきましたけど、教育ビジョンと社会教育振興計画と言う事で、教育委員会中心に計画を策定して今年経ったばかりなんですけれども、これもやはり教育委員会中心と言う事は、教育委員会だけのものではなく

て、元々連携を必要とする事業がありますが、そこら辺の裏付けと申しますか、願いがかなり入ったものが、実際の実効性がどこまでと言うのが中々諮れない、そういう思いを持ちながら進めている事業なんです。先程市長さんの挨拶にもありました様に、市長部局との連携によって実効性が出来るものと。こうやって一緒になってお話し出来て、特に連携を強めて効果が上がるものを、市長部局と一緒に共通認識を持って、具体的な事業と言うものを作って。と言っても今もそれぞれやっておられると思います、それを合体させて本当の目標にしていく事と、それをこの会議を通じてそれぞれの部局へ。特に去年から力を入れているふるさと教育と言うものを、地域との繋がりとか保育所とか、幅広いものにして行こうというものを打ち出した訳ですけども、そこには、思いが非常に強いところに中々なれないところが。実際には、保育所との関係、保育研究会との関係が非常に進んで来ておりまして、そういう風に進んで来たものを更に課題と言うものも見つけておりますので、そういうものを、こういう会を持ってしっかり広げていければ、という感じがしておりますので、今回の会議が非常に今の時代に必要なものが上手く絡んでいければ、ホントに素晴らしい町づくりにも繋がっていくと思っております。一つよろしく願います。

山本市長 初めに申し上げるべきでしたが、今回、平成27年度の施政方針が教育に対する大綱は、なるべく年度の早い内に策定したいという方針を述べております。これと言うのは、平成27年度当初から、新しい教育委員会制度、若しくは総合教育会議を設置すると決まった訳ですが、そこでどういった事をやっていくのかと言う事は、やはり総合教育会議が発足してからでないと決められません、しかし平成27年度はもう始まっておりますので、早い時期に、具体的には6月の定例会にはお示しをしたいと申し上げているところです。したがって議会日程等の関連上、出来れば6月5日に公表したいという考えでおります。もう既に4月の下旬ですので、これまでの期間は非常に短いものであります。したがって、今日頂いたご意見、それから時間がありますので、これから頂くご意見を加えながら、第2回までにはあらかた私の方で、たたき台になるものをお作りして、そこでまた改めてご意見頂きたいと思っております。今後総合教育会議の日程としましては、2回、そして3回この辺で最終的に策定をしていきたいと思っております。この2回、3回の日程については後ほどお諮りいたしますが、本日を含めて3回の会議で策定したいと考えているという事を、あらかじめ申し上げたいと思っております。その上で、今日出席の4人の教育委員会の方からご意見いただきました。そして

あいにく平谷教育委員さんについては今日ご欠席ですけれど、何かあらかじめ今日の議題について意見等をもし受けておりましたら、事務局の方でお願いします。

川原教育部長

それでは。平谷委員さん急遽ご欠席と言う事で、大変申し訳ございません。と言うメールを頂いておまして。昨日このメールが届きましたので、その内容について申し上げます。平谷委員さんは、内容云々よりも、大綱については、こういう点を明確にして協議したらどうでしょうか。という事のメールでした。1点目は、大綱の位置づけについて明確にすべきである。と言う様なご指摘です。これは先程の市長のお話にもありました様に、既に教育ビジョン・社会教育推進計画がありますので、それとの関係をどういう風にするかと言う事が、大綱づくりについては必要ですね。と言う様な事で、平谷委員さん、具体的なお見解は示されてはおりませんが、そういう事のご指摘がありました。それから市長お話しがありました。大綱の期間についての事を明確にすべきではないかと言う事です。大綱については、市長部局と教育委員会との連携と言う事なので、特に市長の意思が反映されるという事になるのでしょうか、短期間で教育については目的が達せられるという事ではないので、やはり複数年をにらんだ大綱になるのでしょうかね。と言うご指摘です。これが2点目です。先程、水上委員さんも言われましたが、市民の皆さんに十分理解頂くように、そうしたものにすべきだ。と言う事と、ご理解いただく様な努力が必要ではないか。というご指摘もありました。それ以外につきましては、大綱を作っただけでなく、作り方にもよるかと思いますが、大綱を作った後の、どのような効果があったかという様な、効果の確認が必要ではないでしょうか。大綱の作り方によっては、中々押し詰りにくい事もあるかと思いますが。主にはそうした点が平谷委員さんからのメールの中には書いてありました。

山本市長

一通りご意見いただきましたが、その他にもございましたらお願いいたします。

渡辺委員

今のご意見に賛同なんですけれども、やはり全国一斉に教育大綱が出来る訳ですよ。そうすると、大概どこも同じようなものが出てくるのではないかと言う風に思うんですよ。やっぱり益田市は大綱に沿って動くというか、動く大綱と言いますか、行動を起こす起こせる、あるいは将来を見据えるというか、そうした思いと言うのを、市民の皆様方に十分理解をしてもらいながら、行政も市民も一緒になって、より良い益田市を作っていく。という方向を強めたものにして欲しいと思います。立派な計画書は沢山ありますが、とうとうしまつてどこにあるか分からなくなるのも、随分ありますので、せつかくですから、

そんなに難しい事を書かずに、やはり行動を起こしやすいものしたら良いと私は思います。

永田委員　私もそう思います。大綱を見たら、これ、これって分かるもの、やはり益田市の教育なので、先程も言いましたように、幼稚園から90何歳100歳の方が一緒に益田市の教育を進めて行くんだ、と言う事になると、文章がだらだら書いてあっても、中々読めないのも、分かり易く書いてあって、それには付け加えが必要だとは思いますが、何か3つぐらいの柱にして、人づくり、学力とか社会力とかあるかとは思いますが、益田市として、これとこれとこれ、と言う様なものを出して、誰もが、益田市の大綱はこれとこれだ、と言える位になれば、良いと思っています。

水上委員　私も同感です。とにかく、立派なものを作っても皆が理解していないと何にも出来ませんし、それと、具体的に言うと、小学校に行っても、学校目標とかあるじゃないですか、小学校に1年生で入学した子供でも分かる様な目標、だけどそれは大人が見ても納得出来るような、読み様によっては奥深い内容が読み取れる様な目標のたて方がありますよね。それから、各学校で工夫された様な地名とか学校名を使ったりとかみたいのがありますが。何かそういう形で、とにかく特色がある、せつかく全国一斉にやるのだったら、特色あるもので、マスコミに注目される必要は全然ないですけども、マスコミ以上に市民の皆が「あっ！」って思えるような、何かやるじゃん、何かカッコいいじゃんみたいな、キラッと光る様なものがあると良いかな、と思います。私に具体的な案があるかという、全然私の中では浮かびませんが。また、そういうコピーを公募する機会は6月を考えるとないと思いますけども、皆が興味を持ってこの大綱を作っていることから、皆が知らないといけない、この会議をしている者だけが知るのではなくて、今大綱づくりに動いているんだよ。という事を市民が知って、出来上がったものを皆が分かって、それで、この6月から来年の春ぐらいまで、こういう事で動いて来たけど、こうだったなあとか。例えば保育所で確認したり、小学校で確認したり、自治会で確認したりって言う事が出来るようになれば、とっても理想的ではあるし、そのぐらい市民に浸透出来ると、たとえ報道に言わなくても、大綱が何かなって分かるだけでも凄い事かな、とは思いますが。

村川教育長　皆さんおっしゃる事は、ホントに大事な事だと思って、そういう風にしていきたいなと思っております。1つ大事な事は、渡辺委員さんが言われました様に、作ってそのままになる様では。多々理由はあると思ひまして、そこはやはり、皆で参画して作ったものでないと、中々人が作ったものに対する想いと言うのが伝わらないというか、自分のものとし

ての意識を持たないといけないと思っでいまして、やはり今回一緒になって、市長部局と教育委員会部局が一緒になっていく、そこのところにも作っていく課程があるのだろうと思っでいまして、庁内で大綱の話や具体的な事業についても、一緒になって整理していきたいと思っでおります。それから、教育委員会の中でも、学校現場と言うのが当然一番重要ですし、公民館という社会教育の現場もありますので、そこら辺も常に情報を共有しながら、意見も聞いて。6月のところまでどこまで出来るか分かりませんが、それについて実際に事業を積み上げの時も一緒になって話が出来たらと思っでおります。もう1つ良いですか。先程市長さんの方から5つの重要項目と言うものを、教育ビジョンとか社会教育推進計画の照らしあわせの中で、重要にして頂いているので、これはそのまま重要事項として出来ると思っでいますが、1つはどちらにもあまり、ゼロではなかったのですが、先程の教育委員会定例会の中で少しお話しさせてもらって合意したのは、今の情報機器の進展と言いますか、この中で凄く情報モラルの、適切な利活用をしないとイケないという、これは全世界の課題であって、日本も当然。非常に難しい困難な部分もあるんですが、これを放置すると被害と言いますか問題が大きくなっていきますので、その辺の情報に対しての取り組みと言うものを、しっかり柱にして頂けたらと思っでおります。去年の2月に益田で情報リテラシー向上推進協議会、これが警察とか民間の業者さんとか、小中学校長会は勿論ですが、幼稚園・保育所・高等学校様々な教育に絡む、あるいは人の育てに絡む様な機関と一緒に実成委員会とか協議会を作って、去年は小学校4年生以上でしたか、アンケートを全部取りまして実成を調べました。今年改めて更に進めるために、国の事業の採択を受けまして、ワークショップとか講演会と言うものを広範囲に行って、学校は勿論保護者の皆さんとかあるいは公民館とか、地域全体で課題を共有して子供への教え、育て方、あるいは自分自身の問題としても、どう取組んでいくかを進めていくような講演会、そういうものが採択を受けることが出来そうですので、これを教育の大綱の中にしっかり位置付けて、今進んでいる事を更に進めて行けたらと言う風に考っでおりますので、1つお願い出来たらと思っでいます。

山本市長

今、村川教育長が言われました、情報教育とか若しくは情報リテラシーと言うのは、今課題になってきていると思っでいます。メディアと言うのが非常に大きな影響を及ぼす様になって来ていて、生活上非常に便利なんですが、一方で非常に危険性があるという事ですし、ややもすると、大人よりも子供の方が先に進んでそういったものを利用して。しかし、その危険性については中々子供では理解しがたい部分がある、と言う事で、それを安全に使ってもらおうと言う、色んな措置

は大人がしっかり考えなくてはならないと思います。これも、益田という町が安全で暮らしやすい町になる為には、子供達をしっかり有害の方から守ると言うところを、大人がしっかり決まりなり、決まりを作る事もありますが、そういった教育をしっかりするなりと言う事は大切なこととそういう風に思ったところです。

渡辺委員

先程市長さんが、5つの項目について力を入れて行きたいというところをお聞きしたんですが、私は、教育委員になるまで、何か以前と違くなって言うのが、公民館の学級講座なんですよ。これが随分以前と比べると数が減ったりされなかったり、気になって気になって仕方なかったんです。今日大畑社会教育課長から色々とお聞きしましたが、今年度は予算もついて、今年度から今まで以上に行動するよ。っていう様な事はお聞きしたんですけども、匹見の例で言いますと、公民館活動で婦人学級等やりまして、婦人が一番困っている生活課題としては、親を看取ることだって、その親を看取するのに自分達だけで介護するのは大変だ。何とか福祉施設が欲しいという事で、自費でスエーデンの方に勉強に行って、帰って行政にそうした事を要求して福祉施設が出来た経過があります。ですから女性の力で行政を動かした部分があるんです。そういう様な必要な課題を自分達で見極めながら、それを行政と一緒に作っていくという、そういう力ですよ。そういう力が教育の力の中にあると思うんです。そういう力をそれぞれの公民館が地域課題を学習しながら解決する勉強をし、そしてそれを元に行動を起こして欲しいっていうそういう思いがもの凄くあるんです。これからの益田市づくりですよ、やはり新体益田市がここから始まった。と言うぐらいのものに進めて欲しいという思いです。そういう事を進めたいですね。

山本市長

その他ご意見ありますでしょうか。だいぶ色々ご意見頂く中で、ハードルがどんどん高くなってしまっていて、次回第2回までにどれだけの事を用意するのか、非常に重い宿題を頂いた感じがしております。そうしますと、今日の1回目のところでは、まだ教育に関する大綱がどこまでカバーするかっていうのを、まだオープンなままでオープンの中で色々ご意見を頂いているという事がありまして、今日しっかりここまでと言う事は難しいところですけども、今日頂いたご意見を踏まえて第2回には、なるべくたたき台に近いものをお出しして、そこでまたご意見を頂きたいと思っております。もし、もう一回今日この場で言うておきたい事がございましたら。如何でしょうか。よろしいでしょうか。それでは意見交換を以上で閉じさせて頂きたいと思っております。続いて(3)の今後の日程についてですが、これについて事務局の方から案を提示させて頂きたいと思っておりますがよろしいでしょうか。

島田教育総務課長　今後の日程ですけれども、今日午前中の定例教育委員会の方でもお諮りさせて頂きまして、第2回目を5月13日1時半から3時まで。第3回を5月26日3時から5時まで、という時間で設定させて頂いたらと思います。最初の設置のところで言い忘れましたが、この総合教育会議、市長と教育委員会の皆様が全員出席の元であるのが基本と言う事にされております。色々なご事情で今日平谷委員さんご欠席ですので、欠席の場合は、違う方法でご意見いただきましたら、そこに反映出来るように努力いたしたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

山本市長　それでは、この第2回、第3回の日程についてはよろしいでしょうか。ありがとうございます。それでは、その他としまして、何かこの場で情報提供等ございましたらお願いいたします。よろしいでしょうか。それでは今日は大変お忙しい中で、非常に密の濃いご意見ご提案を頂戴いたしました。誠にありがとうございます。第2回は、しっかりそうした議論を積み重ねて頂けるように準備をして望みたいと思っております。本日は皆様にお礼を申しあげまして、これで第1回益田市総合教育会議を閉じたいと思います。誠にありがとうございました。

終了時間　14時24分

平成 年 月 日

益 田 市 長

益田市教育委員

益田市教育委員